



土砂災害への備え

土砂災害の種類と前兆現象

大雨などにより、地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。(土砂災害防止法に基づき土砂災害が発生する恐れのある区域として、土砂災害警戒区域、特別警戒区域を県が指定しています。)

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)

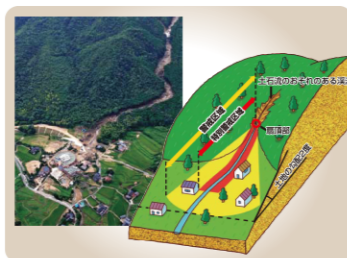
土砂災害防止法に基づき指定された区域であり、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域です。

土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)

土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域です。

土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。



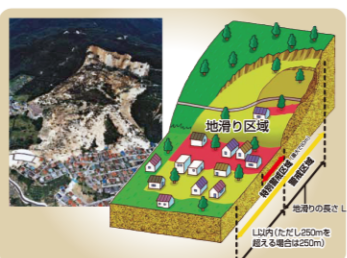
急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。



地すべり

斜面の一部或いは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。



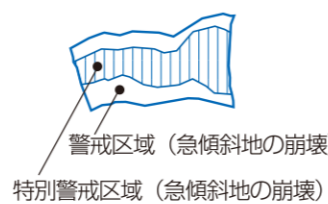
ハザードマップの表示



前兆現象

- 山鳴りがする。
- 川の水が濁り、流木が混ざりはじめる。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

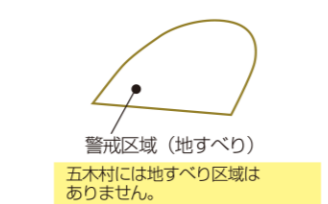
ハザードマップの表示



前兆現象

- がけに割れ目が見える。
- がけから水が噴出する。
- がけから小石がパラパラ落ちてくる。

ハザードマップの表示



前兆現象

- 地面にひび割れができる。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が噴き出す。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨警報発表後も雨が降り続き、土砂災害発生危険度が高まった時に、熊本県と熊本地方気象台が共同で発表する情報です。情報は市町村単位で発表され、村の防災活動や避難情報の判断を支援し、村民の皆さんの自主避難の判断にも利用できます。

土砂災害警戒情報が発表された時は、いつ土砂災害が起きてもおかしくない非常に危険な状態です。土砂災害の前兆現象を感じたら、早急に避難をしましょう。

インターネットによる情報

◆熊本県統合型防災情報システム

気象、雨量、土砂災害危険度、河川水位などの情報を閲覧できます。

PC・スマホ <http://www.bousai.pref.kumamoto.jp>

携帯電話 <http://www.mobile.bousai.pref.kumamoto.jp>

携帯電話用QRコード



◆気象庁土砂災害警戒情報

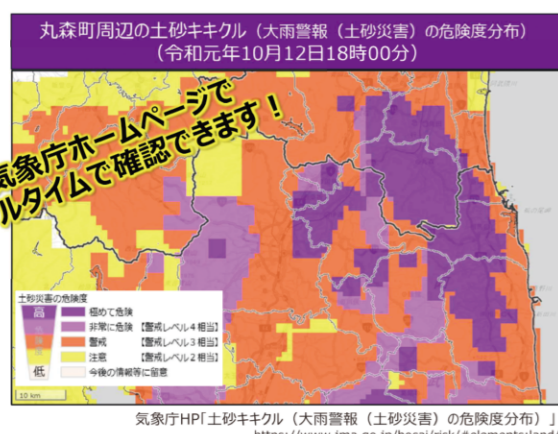
大雨警報発表中に土砂災害の危険性が高まった場合に気象台と都道府県が共同で発表する情報である。

<http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

◆国土交通省九州地方整備局・防災情報ホームページ

http://www.qsr.mlit.go.jp/bousai_joho/

色が持つ意味	説明
極めて危険	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する状況 命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生しているにもかかわらず非常に危険な状況。 この状況になる前に避難を完了しておく。
非常に危険	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況。 遅くともこの時点で速やかに安全な場所への避難を開始する。
警戒(警報級)	避難の準備を整え、早めの行動を心がける。 高齢者等は速やかに避難を開始する。
注意(注意報級)	ハザードマップ等で避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。



地震への備え

地震が起きたらどうする

地震はいつ起こるか分かりません。地震が発生したとき、被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をすることが極めて重要です。

地震発生



自分の身を守る

- ドアや窓を開けて逃げ道を確保する。



揺れが収まってから行動する。



緊急地震速報



1~5分

家族の安全を確認

- 火元を確認し、出火していたら初期消火。
- 足をけがしないように靴をはく。
- 非常持出品を手元に用意する。
- 余震に注意する。

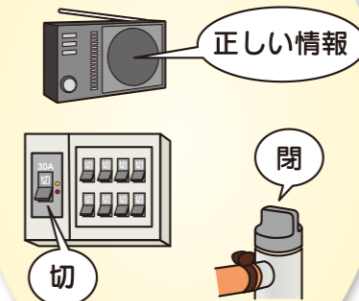


家屋倒壊や土砂災害の危険がある場合はすぐに避難する。

5~10分

隣近所の安全を確認

- テレビ・ラジオなどで正しい情報を確認。
- 家屋倒壊の危険などがあれば避難する。
- ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る。



隣近所と協力しましょう

10分~数時間

助け合いの心で

- 近隣住民と協力して消火や救出活動をする。
- 災害情報・被害情報を収集する。
- 生活必需品は自己備蓄でまかなう。
- 壊れた家には入らない。
- 引き続き余震に注意する。



避難所では集団生活のルールを守り感染症対策に注意しましょう。

わが家の地震対策

● 収納に工夫を

- タンスや本棚などにものを入れる場合は重いものは下に、軽いものは上に収納する。
- 本棚などは、隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間をつくらない。



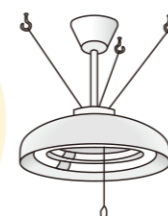
● 置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に転倒防止のための板を入れ壁にもたれ気味に置く。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように配置する。
- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにする。



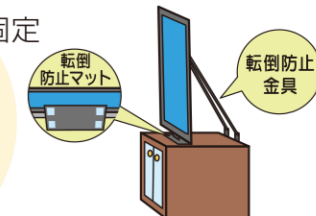
● 照明器具の補強を

- 天井に直接取り付けタイプの照明が安全。
- 吊り下げ式の場合は、鎖と金具を使って数か所とめて補強する。
- 蛍光灯は蛍光管の落下を防止するため、両端を耐熱テープでとめておく。



● 落ちる危険のあるもの

- テレビや水槽はできるだけ低い位置に固定しておく。
- 家具の上落ちる危険のあるものを置かないようにする。



● 耐震金具の活用

- 転倒防止金具・ボール
 - 家具や室内の状況によって使い分ける。
- 重ね止用金具
 - 重ねた上下の家具を固定し、落下を防ぎます。
- 扉・引き出し開放防止金具
 - 扉・引き出しが開かないようにします。



● ガラスの飛散防止対策

- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムをはる。
- 食器棚や額縁などに使われるガラスにも飛散防止フィルムをはって置く。

